

2025年度事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人ふじさわみらい農園

1 事業活動方針

本年度は、法人設立初年度として、今後の活動の基盤づくりに重点を置く。

藤沢市内の耕作放棄地を活用した農業体験の準備を進めるとともに、地域や教育機関との協働体制を整える。

特に、子どもや若い世代が地域の自然や農業に関わるきっかけをつくることを目的に、以下の3つの柱を中心に活動を展開する。

1. 耕作放棄地の整備と農業体験の準備

田んぼ整備や種まきなど、米づくり体験の基盤となる環境づくりを進める。

地域農家や学生ボランティアと協力し、今後の通年活動につなげる。

2. 地元中学校または少年団との連携による食育・米づくり体験の企画

地域の教育機関や団体と協議を行い、次年度からの実施を見据えた食育プログラムを企画立案する。

子どもたちが農作業や自然体験を通じて「食と環境」を学ぶ仕組みづくりを進める。

3. 環境保全と地域交流の推進

引地川親水公園周辺での清掃活動を通じて、市民や子どもたちと一緒に地域の自然環境保全と交流を図る。

また、収穫物や地域農産物を活用した地域物産の開発に向けた企画立案にも着手し、地域の活性化につながる事業の基盤づくりにつなげる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① スマート農業体験・研修にかかる事業

ア 米づくり体験事業

- 内容：市民を対象に、農薬・化学肥料は使用せず、IT技術を応用した田んぼでの米づくり体験を実施する。
- 日時：通年（田んぼ整備：2～3月、種まき：4月）
- 場所：藤沢市内の耕作放棄地を活用した田んぼ
- 従事者人員：延べ20人
- 受益対象者：地域住民（特に藤沢市内の中学生）、文教大学学生 延べ30人
- 支出見込額：30,000円

イ 学校または少年団との連携による食育・米づくり体験企画（企画立案）

- 内容：地域の中学校または少年団と連携し、食育授業の一環として「米づくり」を年間を通して体験できるプログラムを企画する。
初年度（2月～4月）は、学校または少年団との協議・実施計画の作成・安全管理体制の整備・教材資料の作成を中心に行い、翌年度（5月以降）に本格実施を目指す。子どもたちが農作業や自然環境に触れることで、食や環境、地域とのつながりについて学ぶことを目的とする。
- 実施時期：2月～4月（企画立案・調整期間）
- 場所：藤沢市内の会議室・学校・関係機関との打合せ場所
- 従事者人員：延べ10人（スタッフ・ボランティア）

- 受益対象者：0 人（企画段階のため実施対象なし）
- 支出見込額：20,000 円

② 地域交流を目的としたイベント事業

ア 引地川親水公園周辺のごみ拾い活動（環境保全・地域交流）

- 内容：藤沢市内の親水公園（引地川親水公園など）で、市民や子どもたちと協力し、ごみ拾いを行う。清掃活動を通じて、地域交流と環境保全の意識向上を図る。
- 日時：月 1 回
- 場所：藤沢市内 親水公園周辺、または近隣の公共緑地・遊歩道
- 従事者人員：延べ 20 人
- 受益対象者：地域住民・親子参加者 延べ 20 人
- 支出見込額：0 円

③ 地域の活性化に関する事業

ア 地域物産の開発事業（企画立案）

- 内容：初年度は、収穫予定の米や地元産野菜などを活用した「地域物産」の開発に向けた企画立案を行う。地域住民・飲食店関係者などと意見交換を行い、販売可能な加工品（例：米粉菓子、お米と雑穀セットなど）の方向性を検討する。将来的には「ふじさわみらい農園ブランド」として PR 活動を行い、地域の魅力発信を図る。
- 実施時期：2026 年 2 月～4 月（調査・企画期間）
- 場所：藤沢市内の会議室・飲食店関係者との打合せ場所
- 従事者人員：延べ 10 人
- 受益対象者：0 人（企画段階のため実施対象なし）
- 支出見込額：20,000 円（資料作成費・調査交通費・試作費など）

2026年度事業計画書（2年目）

法人の名称 特定非営利活動法人ふじさわみらい農園

1 事業活動方針

本年度は、初年度に整えた基盤をもとに、実施と地域連携の拡大に重点を置く。

藤沢市内の耕作放棄地を活用したスマート農業体験を本格的に展開するとともに、中学校や少年団との協働による食育・環境教育の実施を通じて、地域に根ざした継続的な取り組みを進める。

また、親水公園の清掃活動や遊休農地の整備など、地域の環境保全にも力を入れ、農業体験と環境活動を組み合わせた地域一体型の教育・交流モデルの確立を目指す。

さらに、初年度に企画した地域物産開発の構想を具体化し、藤沢市産の農産物を活用した加工品の試作や意見交換を通じて、地域の魅力発信と活動の持続可能性を高める。

2 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

① スマート農業体験・研修にかかる事業

ア 米づくり体験事業

- 内容：市民を対象に、農薬・化学肥料を使用しない田んぼでの米づくり体験を実施する。
- 日時：通年（種まき：4月、田植え：6月、草取り：6～7月、稲刈り：9月、脱穀・精米：10月、田んぼ整備：12月、3月）
- 場所：藤沢市内の耕作放棄地を活用した田んぼ
- 従事者人員：延べ30人
- 受益対象者：地域住民（特に藤沢市内の中学生）、文教大学学生 延べ100人
- 支出見込額：100,000円

イ 中学校または少年団との連携による食育・米づくり体験（実施）

- 内容：地域の中学校または少年団と連携し、子どもたちが田植え・草取り・稲刈りなどを通して、食の循環や環境保全を学ぶ体験型プログラムを実施する。保護者や地域農家、ボランティアも協力し、地域ぐるみでの食育・環境学習を推進する。
- 時期：2026年5月～2027年3月
- 場所：藤沢市内の田んぼ・地域交流スペース
- 従事者人員：延べ30人
- 受益対象者：中学生または少年団員および保護者 約50人（延べ）
- 支出見込額：100,000円

② 地域交流を目的としたイベント事業

ア 収穫祭・地域交流イベント

- 内容：収穫した米や地域の農産物を活用した交流イベントを実施し、地域住民の交流を促進する。
- 日時：12月
- 場所：藤沢市内の田んぼ
- 従事者人員：延べ20人
- 受益対象者：地域住民 約50人
- 支出見込額：100,000円

イ 引地川親水公園周辺のごみ拾い活動（環境保全・地域交流）

- 内容：藤沢市内の親水公園（引地川親水公園など）で、市民や子どもたちと協力し、ごみ拾いを行う。清掃活動を通じて、地域交流と環境保全の意識向上を図る。
- 日時：月 1 回
- 場所：藤沢市内 親水公園周辺、または近隣の公共緑地・遊歩道
- 従事者人員：延べ 50 人
- 受益対象者：地域住民・親子参加者 延べ 100 人
- 支出見込額：0 円

ウ 遊休農地解消活動

- 内容：耕作放棄地や遊休農地を借り受け、市民やボランティアと共に整備し、農業利用可能な状態に回復する。または、地主と協力し、農地を手放さず維持できるよう作業を支援する。
- 日時：通年（年間約 50 回）
- 場所：藤沢市内の遊休農地（地域協力農地を予定）
- 従事者人員：延べ 200 人
- 受益対象者：地主・農地所有者 約 10 人、地域住民・農業参加者 約 200 人
- 支出見込額：0 円

③ 地域の活性化に関する事業

ア 地域物産の開発（試作品作成・検討）

- 内容：初年度に企画した地域物産開発構想をもとに、藤沢市産の米・野菜を活用した加工品の試作品を作成する。試食・意見交換会を通じて改良点や販売可能性を検討し、次年度以降の展開につなげる。
- 時期：2026 年 5 月～2027 年 4 月
- 場所：藤沢市内の調理・交流スペース
- 従事者人員：延べ 15 人
- 受益対象者：関係者・協力者 延べ 30 人
- 支出見込額：80,000 円